リステラス星圏史略
古資料ファイル
７－１－０
（邂逅）（仮題）

「1976年5月14日着筆」
（発掘作業宙）

霧樹里守 is 土岐真扉

目次

【　移転　の　お知らせ　】 1
『星暦ゼロ年』　（2006 年 5 月 6 日） 2

（全権大使 ケティア）
第１部　第１章　リスタルラーナ　@「1976 年 5 月 14 日着筆」 7
『　「邂逅」もしくは「宙暦 0 年」　ストーリィプロット　』　（@中学？） . 9
第一章第一話　　邂逅・宙暦（C・E）0 年 10
『　漫画のネーム☆　（1）　』 14
（第一稿？）ダーナー船長の独断。 22
（10）　リスタルラーナ代表の一人、ケティア・サーク大使は 25

（地球サイド）

（ソレル女史）

（借景資料集）

奥付
奥付 35

【　移転　の　お知らせ　】

☆
☆　超～大幅に？　　加筆＆改稿中の２０２３年版、
☆
☆　こちらに移転しました。
☆
☆
☆　『エスパッション・シリーズ・前夜 』
☆
☆　　…　未来伝承　…
☆
☆
☆　　https://novelpia.jp/novel/2126
☆
☆
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

(The First contact)

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

『星暦ゼロ年』　（2006 年 5 月 6 日）

http://76519.diarynote.jp/200605060001180000/

2006 年 5 月 6 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=243 http://76519.diarynote.jp/200605060001180000/

さて。やっと、辿り着きました.....。
私の歴史の中での中間点。というか、
折り返し地点です.....。（まだまだ長い！）

略称で一般的には「《星暦》（せいれき）ゼロ年」と呼ばれておりますが、やはり《地球連邦》とだけ略称される《地球系開拓諸惑星＋諸居住空間連邦》内の公用語群での正式名称は、《惑星地球統一達成記念暦》の「元年」ということになっております。長いので、誰も日常では使いませんが.....。
(^^;)d

史略として最初にネタばらしときますが、《泣き虫》で《救い主》のリースマリアルは、「一切なんにも戦わないで、武器を持たずに地球を統一!!」という志（こころざし）の半ばにして老衰で亡くなります。ま、夢の実現への途は着々と進んでいる中で、後事を託せる同志にも後継者にも恵まれて、全世界から惜しまれながらの大往生だったので、十分に幸福な一生だったと思うのですが.....。

（.....あ、余談ですが.....。
私のキャラ中で、「幸福な一生」
を送って老衰で大往生するヤツって.....。

ものすごく稀少かも……☆☆ (◇;)d”）

しかし、地球統一達成のための偉大な求心力を失って、やはり歴史の流れは一旦頓挫しかけてしまうのです。大きく分けて二つの文化圏（生活価値圏）に分かれたまま、これ以上、まとまりようがない。交戦するとまでは行かないけれども、「友好通商条約」程度の関係で、「遠くで幸せになってね」的、万里の長城風、見えない「分離壁」のある地球……。

……。(￣^￣;)。”””……

いちおう、戦乱の危機は回避されて、
「安全」で「平和」ではあります。

でもやはり、「統一」は、見果てぬ夢であり、
人類全体の、長い永い悲願でもあるのです……。

(T T)／”””””

そんな膠着状態の地球で、ある「事件」が起きます。
大いなる「第一の衝撃」となって全惑星を揺るがし、
身内で喧嘩してる場合じゃない……という危機感が、
二大文化圏の「大同団結」を、可能にしたワケです。

まぁ、よーするに、
ファーストインパクトで、
ファーストコンタクトです。

地球外文明圏からの、お客さんの御来訪です。

d(・・)

りすの出身地は「文明開化」の地である横浜なので。小学校の 4 年かそこらで地元の歴史（生麦事件とか）の副教材を読まされたりしている時に、白昼突如 (笑) 襲ってきた「ビジョン」によって、元ネタが形成された……(◇;) げっ……という、困ったエピソード群でもあるのです……。

(^^;)

さてこの星暦元年の 4 月 3 日に、次のシリーズの主人公になる人物が、地球人とリスタルラーナ人のすべてに見守られながら、超絶難産を乗り越えて、無事、出生を遂げたわけなんですね.....。

(゜-゜) トオイメ。

ってことで、さらにさらに。
この話は延々続くのだ.....。(◇;) げっ

（全権大使 ケティア）

第１部　第１章　リスタルラーナ　@「1976 年 5 月 14 日着筆」

http://76519.diarynote.jp/200612232302260000/

2006 年 12 月 23 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=5 http://76519.diarynote.jp/200612232302260000/

第 1 部

第 1 章 リスタルラーナ

宇宙船はうす青い大気につつまれた、太陽系第 3 惑星へ接近しつつあった。船内のスクリーンにくっきりと映った星の姿は、それをながめる者の心を魅了するのに充分だった。
「美しい星だ。われわれのリスタルラーナにそっくりだと思わないか、ケイト？」
「ええ。話には聞いていたけど、こんなにきれいだなんて.....。こられてよかったわ、。本当によかった。たちに最初に受け入れられるのは私たちなのよ。」
「うん。だがなまやさしいことじゃないぞ。調査隊員の報告では彼らはまだロボットと原子力の初期段階じゃないか。はたして異星人のわれわれを受け入れてくれるかどうか.....」
「そうね。.....でも私たちはそれを成功させるために来たのよ。に私たちの存在を知らせ貿易を始める。そりゃ初めのうちは、私たちが 1 方的に面到を見てやることになるでしょうけど.....。でも失敗したら、はるばるリスタルラーナから 150 シタレムも旅してきたかいがないじゃないの」
「わかってるよ。そのために **君と** 来たんじゃないか」

（※続きの原稿、行方不明？ みたいです.....★ (T_T)”）

.

コメント

http://76519.diarynote.jp/

りす

2006 年 12 月 23 日 23:02

＞（@「1976 年 5 月 14 日着筆」と書いてある☆）

え〜.....☆
私が実わ「1964 年 6 月生まれ」ですので.....☆
これ書いた時点で.....小学校、5 年かな.....？ (◇;)”

よくまぁ、「着筆」なんて単語を使ってみたもんです.....

ナマイキ☆ (◇;)”

『　「邂逅」もしくは「宙暦 0 年」　ストーリィプロット　』（@中学？）

http://76519.diarynote.jp/200704200527560000/

2007 年 3 月 3 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=5

◎「邂逅」もしくは「宙暦 0 年」ストーリィプロット

ケティア・サーク 23 歳。リスタルラーナ星間連盟の全権大使として、同僚のエレンヌ, カートと二人で太陽系第三惑星テラに派遣されて、出発後 2 年目にしてようやく太陽系内にたどりついた所。船長であるキャプテン・ダーナーと喧嘩しながらも、地球連邦へメッセージ

第一章第一話　　邂逅・宙暦（C・E）0 年

http://76519.diarynote.jp/200704280156000000/

2007 年 4 月 1 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=5 http://76519.diarynote.jp/200704280156000000/

エスパッションシリーズ・超少女たち
年代：ＣＥＡ！ ’0 年〜72 年まで

第一部邪魔樹（やまじゅ）編魔邪夢樹編 サキ

舞台：地球・リスタルラーナ・ジースト
主人公：サキコ・ラン＝アークタス
対立者：シスターナ，レイズ

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

第一章第一話 邂逅・宙暦（C・E）0 年

1.

「航法チェック終了」
「ワープ転位完了。あと十秒で通常空間に戻ります」
出発以来 2 年に渡る訓練と睡眠学習とで、既に航宙員（クルー）達までが、難解な専門用語を地球（テラズ）標準語で操つれるまでになっていた。
「よし、出ると同時に全チャンネルのバリヤー全開（オープン)。見つからんようにしろ」
例によって無愛想な、キャプテンダーナーの声が響く。転位終了の声。前面のスクリーンが揺らぎ、一つの惑星が姿を現わした。青い星。彼ら一行の目的地である、太陽（ソル）星系第三惑星。地球（テラズ)。しばらく沈黙が流れる。誰かが秘やかに嘆め息をもらす。

「Mr. ダーナー。」
いきなり感動シーンを叩き壊したのはケティア，サーク。全権特使という大任を負うには、およそふさわしからぬ若年である。二十二歳。感情を極端に制御しようとしている為、硬化クリスタルのような声音がかえって彼女の不機嫌さを表明してしまっていた。
「失礼ですが Mr（ミスタ）」彼女は再び呼びかける。
「何故レーダー用のバリヤーまでお張りになるんですの?!」
ダーナーがその冷徹な眼を動かしてギロリと彼女の上に一瞥を投げかけた。
「不用意に発見されて攻撃を受けたいとでも言うのですかな、ミス？」
会話は全て地球語で行なわれているのだが、おういう時、ダーナーは、覚え違えたものかそれとも故意に間違えているのか、必ず敬称であるミズ（女史）をミス（失敗）と発音する。ケテイァはそれは無視した。が、既に頬の色が鮮やかなオレンジ髪の色と同じに染まっている。
「ですが地球系連邦にはどこを探したって武器などありませんわよ！ あたくし達は地球に関する資料は全て頭に叩き込んで来ているのですからね。」
「なるほど」
航法の指示を下し続けながら冷然とダーナーが答える。「我がリスタルラーナ連盟に於ても、確かに軍備の撤廃条約は百年も前に調印されているが実際にはほんの十五年ばかり前にも、互いに争ったスラレル（リ・スラレウ）とラク（リ・ラク）の二星が再興不能の状態になるまで行きましたな、ミス。確かあなたの星でも.....」
「惑星クアリステ（リ・クアリステ）が当時 “援助物資” なる物を大量に戦場に送り込んでいた事は事実ですわ。でも、それとこれとに一体なんの関り合いがありまして。」
「名目上、クアリステにも軍備など存在しない筈でしたな。『自衛の為を除いて』。」
「！」
瞬間、ケティアは自分の赤毛が帯電でもするかのような感覚を味わわされた。シートベルトに抑え付けられなければ、飛び上がって彼の頬を引っぱたいていた事だろう。
別段、たとえそれが自分にとって愉快な事ではなかったにせよ、何かの事実を指適された位でケティアがそれ程逆上したわけではない。誰が見ても非はダーナー船長の方にあると思うのが普通なのではないだろうか。多少の嫌味に動じる様では外交官などとても務まらないが、ダーナー船長の物言いは全てに渡ってそんな生優しい代物ではなかった。ありとある事物に対して、侮蔑的な態度をしか取らないのである。
若く情熱に燃える、全ての素晴らしい物の信奉者であるケティアにとっては、その虚無的で陰険な言動や何もかもを見限ったかのような視線など、どうあっても生理的に受け付け得る筈がなかった。
「駄目ですよ、ケティア特使。よした方がいい」
言いながら、ぶるぶる握りしめている彼女のこぶしの上に穏やかに手の平を重ねたのは、隣に座っていたエレンヌ，カートだった。肩書きとしては副使で、ケティアの最も近しい同僚である。
「彼には我々使節団一行を無事に地球へ送り届け、またリスタルラーナまで連れ帰ると言う任務があるんですよ。長年辺境探査船の艦長を務めていれば危険に対して慎重になるのは当然だし、だからこそこの仕事に選ばれた訳でしょう？

これから始まる交渉は、我々にとっても地球にとっても始めての経験異人種とのファーストコンタクトで、友好通商を求める事はかなりの困難になるでしょう。成功の是非を請け負わねばならない特使が神経過敏になっているのはわかりますが、先は長いんです。心を落ち着けてかからなければ体の方が持ちませんよ。」
彼は常に穏やかな落ち着いた口調で話すのだが、それは単に温厚であるとか冷静であるとかに留まらず、寄せては帰す海の波のような静かな説得力と底力を持っているのだった。
彼の方に理があるのは解っているので、ケテイァは何も答えない。きつくなっていた心が不思議に軽く、沈静して行く。幾度か深呼吸をすると、すっかり視界に明るさが戻って来るようだった。
「すみません。ありがとうございますエレンさん、もう大丈夫ですわ。以後気をつけます」
ケティアの言い終るのと、ダーナーの「なるほど」とが、重なるようにして室内に響いた。
「通信室の方で、メッセージが送れるよう回路を地球の一般周波帯に調整し終ったと言って来てますな、エレンヌ大使。恐らくリスタルラーナでは正副間違えて任命するという誤りを犯したんでしょう」
ケティア特使は それでも最大限の自制心を総動員して一言も発しないまま、掛けてあった上着を掴むとコントロール・ルームから飛び出して行った。

.

コメント

http://76519.diarynote.jp/

りす

2007年4月28日 2:23

え〜.....☆ (◇;)

日付が4月1日だから、というわけではないのですが、
ウソのような冗談の、じゃなくてホントの話でして、
「ESPA関連」の「没原稿」ファイル、
さらにもう1冊、発見（発掘？）して、

しまいました.....☆（◇;）

と、いうわけで、話が元に戻ってしまいました.....

(◇;)(◇;)(◇;)(◇;)(◇;)""

ま、私自身以外には、どーでもいいコトかもしれないけどね☆

(-_-;) ＞" ホントに多いなぁ〜☆ ESPA の没原☆

http://85358.diarynote.jp/

http://85358.diarynote.jp/

2015 年 4 月 1 日 11:22

あはははは...w

まさか、２０１５年（５０歳！）の今になって、

「サキの前世が実は...！」なんて、

まだやってる私の脳ミソって...！！！

『　漫画のネーム☆　（1）　』

http://76519.diarynote.jp/200705200019310000/

2007 年 5 月 20 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=5 http://76519.diarynote.jp/200705200019310000/

（1 頁）

最終戦争（アーマゲドン）後数百年
人々は部落ごとに
孤立して次第に
その科学力を失い、
領主たちは王の座
を求めて争った。☆戦乱の絵☆

民衆は飢え、人種
差別が横行し、幾
度かの世界統一の
試みもみな失敗に
終って二度と平和
が訪ずれることは
ないように思われ
たちょうどその時 ☆奴隷・拷問・暗殺などの絵。

どこからか
かの女性（ひと）リースマリアルが
あらわれた

☆希望の太陽に向って差し伸べられる無数の手の図。

（2 頁）

彼女と彼女の一族は
高度の科学力を維持
し、少数部族として
長い間時が熟する
のを待っていた

彼女は始めてから
わずか五年で地球
の大部分を併合し
混乱した弱肉強食
の時代に終止符を
打った。

彼女は学校や病院を作り
近代的な都市を再建し、
人々の間に文明と科学と
学問と発展をとりもどし
身分制度や封建制奴隷制
資本主義などのあらゆる
悪い慣習を禁止して
まったく新しい体制の
政治と経済を創りあげ

そして委員会を指揮し
憲法を定め、
国内を巡回して国民の
一人一人の意見を聞いた

彼女は常に自由と平等を主張し
人間を愛し平和を愛し
全ての人の幸福を願っていた

☆ケルト風衣装に王冠を頂いた細身の女性全身像。

（3 頁）

だれかが彼女に尋ねれば
彼女は必ずこう答えた

「なぜそんなにしてまで
おやりになるんです？」
「自分を犠牲にしてまで」副官、後ろ向きの図

「それは.....人間が
悲しむのを見たく
ないからだわ.....
.....わたくしには
人間の不幸を全て
とり除くことは
できないけれど.....」
「それでも戦争や
差別貧困などに
よる悲しみは
減らすことが
できますもの」☆ガーデニング中のリースマリアル

「それに.....
死や病気や別離
失恋孤独などの
人間が存在する
限り消えない
悲しみだって」
「愛や生きがいや
希望などの
より多くの幸福に
よって忘れられる
かもしれない.....
少くともなぐさめ
勇気づけられます」
「.....だからわたくし
は幸福を.....」☆遠くを見上げるリースマリアル

「幸福を求めてやまないのです 」

.....そんな彼女だったからこそ
人々は「救い手」と呼んで
母のように姉のように娘のように
また秘かなあこがれの女性（ひと）として

愛したのかもしれない

平和歴 26 年
「救い手」リースマリアル死去。
時に 42 歳の短い生涯だった.....

☆花に埋もれて永眠するリースマリアル

（4 頁）

そして平和歴 43 年
あらたな歴史の流れが始まる

☆遠景の地球と月の間から太陽が「昇る」瞬間の図

（5 頁）

超能力者物語第一部（サキ）序章

第一話 **で あい**

☆弓と矢を持ち、妊娠した腹部に手を当てて
左横（未来方向）を見やる、ギリシャ風衣装のサエム夫人全身像。
（背景に宇宙船ファーツアロウ全景）

（6 頁）

恒星間航法（ワープ）の際に通過する
亜空間を、一隻の国籍不明の
外宇宙航行用大型船が無断
で航行していた。

☆ビイ.....ンとエンジン音を響かせながら航行する宇宙船の図。

Part 1.

オペレーター「ワープ終了 50 秒前!!」
オペレーター「対探知機（アンチレーダー）バリヤー 準備完了！」
ダーナー船長「よし、通常空間に出ると同時にバリヤーをかけろ」
オペレーター「了解！！」

カート「なんでわざわざバリヤーを張るんです？」
「われわれは早く地球と接触したいんですよダーナー船長」

ダーナー船長は憮然として答えた

ダーナー「むろん攻撃をさけるために決まっているでしょう」
「それくらいもわからんのですかなエレンヌ大使」

彼が笑っているのを見たという者は船内にはいない。

ケイト「あら、でもあたくしたちは国交樹立のための親善使節として
やって来ましたのよ」
「それに地球には軍隊がありませんわ
.....あたくしたちはちゃんと調べたのですからね！」

あたくしはこの男が大っきらいだった。

（七頁）

大体、人間が笑わないなんて、それだけでどうかしている.....

オペレーター「ワープ終了！！」
オペレーター「バリヤースイッチ ON！！
ダーナー船長「よし！ 現在位置確認」
オペレーター「はい！」

ダーナー船長「.....くだらんですな.....」

「我々のリスタルラーナ連邦だって千年も昔に
軍隊は廃止になっとります.....たてまえとしては」

「だが実際のところ、一年として国際紛争のない年はないですな」

「例えばサーク大使、あなたの星などは大規模な軍隊を
自衛隊などと呼んで ごまかしている」
「連邦会議でひと騒動ありましたな」

「ましてわれわれは不法に領海に侵入しとるんですから
攻撃されても文句は言えんのです」

カート「文句言うだけムダですよ ミス・ケティア」
ケイト「だってカートさん.....」（怒）

ピーン ピーン（効果音）

ふいに探知器（レーダー）が鳴り
観測人（オブザーバー）の一人が
ふりむいた.....

観測人「船長（キャップ）！！」
「地球の客船がバリヤのすぐ近くにワープしてきました
こっちに向ってきます」

（頁 6 の書き直し）

Part I. リスタルラーナ

ビィ.....ン ビィ.....ン ビィ.....ン

ワープ航法の際に
通過する亜空間を
今国籍不明の大型船
が無断航行していた

オペレーター「ワープ終了 50 秒前！！」

航宙士が緊張してどなり
副長が復唱する

副長「対探知器（アンチレーダー）バリア準備完了！」
船長「よし通常空間に出ると同時にスイッチを入れろ」

「タイミングに気をつけろ ここはもう地球の領界の中だぞ」

いつもながら無愛想なダーナー船長の指示！！

☆不機嫌に着席しているケイトとカート。

（オペレーターが振り向いて報告する横顔アップ）

※ Free Tolk Note 中三（2）参照

（と、書きこんであって、未完☆）

> 主な登場人物
>
> ヤスルミナ・ダエイネン（金色長髪の優男）
> 星間国際連合
> 通称プリンス
> 金褐色の髪
> 金緑色の瞳
>
> マリシェルラ・ダエイネン（金巻毛の美女）
> 通称プリンセス
> 金髪、青緑色の目
>
> カート・エレンヌ
> リスタルラーナ全権大使
> 黒眼黒髪
>
> ケティア・サーク
> リスタルラーナ全権大使
> 茶目茶髪
>
> コンピューター・リースマリアル
> 通称コンピュート・マム
> ※.....『テラへ』のマザーコンピュータにそっくり.....(^^;)

.

コメント

http://76519.diarynote.jp/

りす

2007年5月20日 1:14

.....え〜っと.....☆ (◇;)”

これは私が「漫画家になろう」と思っていた時代の、
最後の作品ですな☆ で、この後すぐに『指輪物語』
劇場アニメ版を見て己れの画力の限界を悟ると共に、

「私の作品にはネームが多すぎる!!」｜｜｜｜(◇;)｜｜｜｜”

という、漫画描きになるためには、ほぼ致命的な欠陥.....絵で説明することができず、文章でしか表現しえない内容のほうが、自分にとって、より「書きたい／表現・伝達したい」分野である.....という事実に脱帽して、「トールキンみたいな100年残る小説書きになる！！」という、実に遠大なる人生計画をブチあげてしまったのでした.....とさ。

どっとはらい☆ (◇;)(◇;)(◇;)(◇;)(-_-;) ＞”

（第一稿？）ダーナー船長の独断。

http://76519.diarynote.jp/200705040046340000/

2007 年 4 月 6 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=5

> 中略。
> ダーナー船長の独断。
> ケティアの激怒。
> 地球側の感謝。うんぬんくんぬん.....。
>
> かくて、536 対 20 という圧倒的多数をもって開国に賛同がなされ、細かい条約の討議・調整の後、全人投票により可決された上で、調印が行なわれる事になった。

『
前略、ケティア・サーク様。
未だ病床にあります由、母の代筆にて便り致します非礼、どうか御容赦下さいませ。
この度、複雑な政界の事、諸々問題も御座いましょうに、曲げて、私ども親娘（おやこ）のために御尽力お申し入れ下されました事、まことに有難く、感謝の言葉も見つかりませぬ次第で御座います。
おかげさまでこの命を長らへる事もでき、横では、安らかな寝息をたてて、私どもの娘が寝入っております。
本日をもって既に三週間ともなり、医師様の生後の御処置のおかげでございますが、母に似ぬ健康なみどり児にて、私ども一同皆安堵到して居ります次第。
名を蘭咲子（ランサキコ）
私ども一族の古い言葉で『咲く』とは花の開く意に御座います。
本来ならば、このような場合、恩人であるあなたさまに名付け親となって下さるようお願い申し上げるべき.....

長女紗由里（サユリ）ともども、次の世代を担うべき子供らの一人で御座います。
貴女様の星との交流の中に、新しい文化の花を開かせる、そのような子に育って欲しいと、心からの願いをこめて、こう付けさせていただきました。
では、全人投票に向けての各地遊説で、かなりお疲れの様子とうかがいました。どうぞお体おいとい下さいませ。
かしこ。
とり急ぎ御礼まで。
四月二十四日蘭冴夢（ランサエム）

』

書き文字に慣れていないうえの達筆で、文体そのものがやや擬古文調なもので、ケティアが読むのにはかなり骨がいったが、自分より年上の女性からの礼状の巧さに内心下を巻いた。

読みおわって、ケティアは嘆息をついた。
「やっぱり、謝りに行くべきかしら.....」

後日、ケティアとカートが盛大な式を挙げた時、キャプテン・ダーナーが賓客の一人として招かれていた事は言うまでもない。

> Memo
> ・リースの挿話どの程度まで入れるか。
> 家族構成聞いとくこと。住所も。

> 砂 小 早 紗
> 遊夕 有 木優 結 幽 悠 由
> 利 梨 理 里
>
> 砂由里

> 砂由梨
> 紗木綿里
> 小由梨
> 早由梨
> 紗由里
> 紗由利
> 紗由梨
> 小由里
>
> 冴由利
> 冴由理

.....結構重要な登場人物であるサユリ（蘭小百合）の名前（文字）がまだ決まっていなかった、ということは、どうもこれが栄えある第一稿？ のようですな.....A⁻;)

（10）　リスタルラーナ代表の一人、ケティア・サーク大使は

http://76519.diarynote.jp/200703040048010000/

2007 年 2 月 27 日 http://76519.diarynote.jp/?theme_id=5

10

リスタルラーナ代表の一人、ケティア・サーク大使は、彼女の個室にと割り当てられた一室で、もう三度めほどの嘆息をついた。
地球人ときたら、どうしてこうも頭が固いのかしら!!
目の前に置かれた受像機には、延々とあきもせず繰り返される、地球系星間国家連邦政府特殊総会議場の舌戦風景が映し出されている。
今年 25 歳の女性大使・ケティア・サークは、彼女らを派遣するや否やで自国リスタルラーナ星間国家連盟が会議に費やした時間と税金との事は、都合良く棚の最上段へ放り上げて、ひたすら地球政府の非迅速性に対する批判の言葉を探していた。
会議に慎重を要するのは解る。
なんとは言っても、両種族共に、始めて経験する、宇宙人との接触なのだ。全権大使ともなれば、相手国の会議中に、落ちついていられるわけはない。
→彼女は手元においた地球産のアルコール飲料を更にたてつづけて 2〜3 杯、おそろしいスピードで飲みほした。
実はもういい加減に酔っている。

> 派遣するや否や ＜ 派遣するか否か
> と、ジツアネによる校正？ が入っているが.....
> 姉！ この時点（中学 1〜2 年）で既に、
> 作文（国語）と作画（デッサン）能力だけは、
> 私がアナタを抜いた後だったんだがねっ!! o(￣^￣;)o

第一部

1．浜辺にて

開国以来 5 年、つまり、サキ五歳の初夏。
ちょうど 11 歳を迎えたサユリと、母のサエムと、母娘三人は
ごく穏やかに、岬へと向う海岸沿いの遊歩道を散策していた。
金色の木もれ日ごしに青い空、左手にはどこまでも続く白い
まぶしい砂浜。遠浅の海のエメラルド色。
三人が歩く遊歩道はちょうど浜の終りに沿っていて、やや
砂まじりの赤いひいやりした土の上、左に海、右手に美しい林を
たずさえて、どこまでも歩いてゆくのはなかなか満ちたりた心地
良さがあった。
岬の鼻へ出るまでは、サキもサキも大人しく母さまの手につながれて
いたのだけれど、

（地球サイド）

（ソレル女史）

（借景資料集）

奥付

奥付

リステラス星圏史略

古資料ファイル

７－１－０

（邂逅）（仮題）

../../book/112759

著者：霧樹里守 is 土岐真扉
著者プロフィール：../../users/masatotoki/profile

感想はこちらのコメントへ
../../book/112759

電子書籍プラットフォーム：パブー（https://puboo.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト

リステラス星圏史略　古資料ファイル　７－１－０　（邂逅）（仮題）

著　　霧樹 里守（きりぎ・りす）

制　作　Puboo
発行所　デザインエッグ株式会社